



2025年度 医用画像システム部会 成果報告会

企画・広報委員会 成果報告

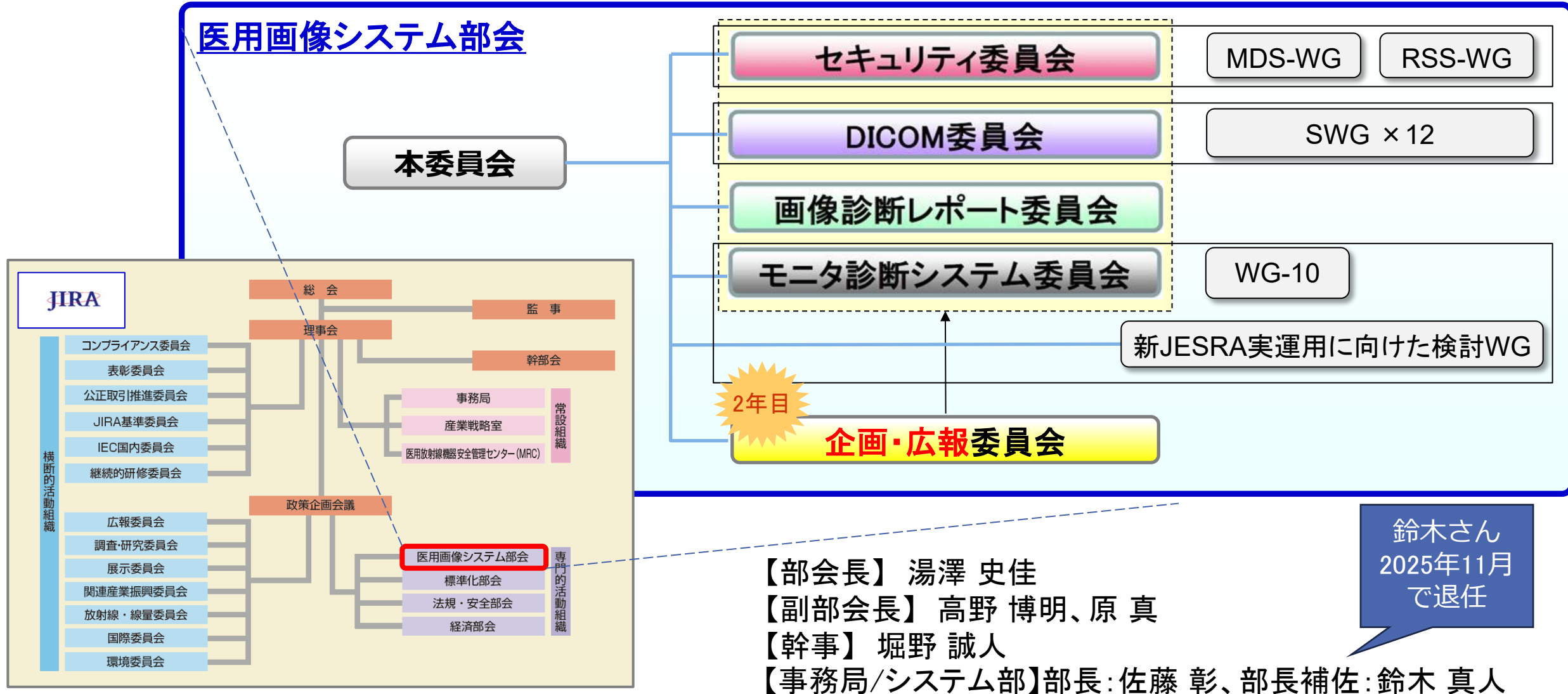


一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA)
医用画像システム部会 企画・広報委員会 委員長 高野 博明



企画・広報委員会の紹介

■ 2025年度の体制



企画・広報委員会の紹介

委員会(2025年度 委員長)	ミッション、活動内容
<p>モニタ診断システム委員会</p> <p><メンバー> 委員長： 高野 博明 (コニカミノルタ) 副委員長： 湯澤 史佳 (キヤノンメディカルシステムズ) 副委員長： 原 真 (J-MAC)</p> <p>事務局： 佐藤 彰 事務局： 鈴木 真人</p> <p>画像診断レポート委員会 (原 真)</p>	<p>適切なモニタ画像診断の普及活動 - ガイドラインの作成や見直し、モニタ精度管理セミナー共催</p> <p>(兼務) →副部長 →部長 →副部長</p> <p>→システム部_部長 →部長補佐</p> <p>- 異なるシステム間でデータを交換する手順の標準化 - 普及促進のためのツール提供と広報活動</p>
<p>企画・広報委員会 (高野 博明)</p>	<p>部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発 - 企画・広報担当として、ホームページ運営、報告会の開催 - ITEM等企画展示への協力、学会誌等での部会活動の紹介</p>

■ 2025年度の活動計画

システム教育委員会 → [企画・広報委員会](#) へ名称変更(2年目)

「部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発」を活動方針とする。

医用画像システム部会の**企画・広報担当**として、ホームページ運営、成果報告会の主催を主な活動とし、展示企画等にも協力する。また、JIRA会報やJSRT等の学会誌や民間医療情報誌等を通じて、医用画像システム部会の活動を広く紹介する。

2025年度の事業計画を以下に示す。

- (1) 部会の企画・広報活動としてホームページ運用、合同報告会、成果報告会を担当する。
- (2) ITEM2025において、医用画像システム部会関連の企画に協力する。**ただし、要請があれば。**
 - ・医用画像システム部会の活動紹介動画の作成
 - ・医用画像システム部会本委員会、各委員会関連の広告・パンフレット(電子版)の掲載
 - ・IHE等、関係諸団体の活動に関するパンフレット(電子版)の配布
- (3) 「DATA BOOK 2026 図表で見る画像医療システム産業」継続発行における加筆修正を担当する。

1. 部会活動の企画・推進

- (1) JIRA・JAHIS情報交換会(JJI)の開催
- (2) 2026年度事業計画・予算案の策定、JIRA産業ビジョン2030対応検討
- (3) JESRA最新動向・改定状況の整理、情報共有
- (4) その他

2. 成果の周知及び啓発

- (1) 部会合同報告会(9月)、部会成果報告会(3月)の開催
- (2) JIRAトピックス(JSRT学会誌)7月号、JIRA会報221号(トピックス)への寄稿

3. まとめ

1. 部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発

(1) JIRA・JAHIS情報交換会(JJI)の開催:

- コロナ渦で中断していたJJIを再開。2025年度は3回開催。
- 各回にて、当委員会から下記の情報共有を行った。

第1回(2025/05/23): 医用画像システム部会の紹介(本委員会+各委員会)

第2回(2025/09/19): 2024年度活動報告+2025年度活動計画、合同報告会の紹介

第3回(2026/02/20): 2025年度活動状況+2026年度活動計画、成果報告会の紹介

第1回会場: 日本橋ライフサイエンスビルディング2 901会議室、Zoom会議



第2回・第3回会場: JAHIS会議室にて開催

1. 部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発

【補足】JIRAからの情報提供:

- 医用画像システム部会からの情報共有に加え、JIRA全体からの情報提供を設定。
- 第2回では①カンファレンスパークについて、第3回では②JIRA教育用セミナーの紹介を行った。

	項目	概要
①	カンファレンスパークについて	https://cpk.jp/conference/74/top 「医療従事者とJIRA会員企業の双方向コミュニケーションの場」 カンファレンスパークのコンセプトと2025年度セミナーのご紹介 ※現時点では、JIRA非会員企業のセミナー視聴は不可 JAHISの視聴希望があれば、有料視聴を検討する。
②	JIRA教育用セミナーのご紹介	https://jira.trainercentralsite.com/course/jira-vod-2025/#/home JIRA会員企業向けの社員教育用ビデオコンテンツ ※JIRA非会員企業でも申し込み可能(非会員は、会員価格の倍額の設定)
③	肺がん検診の推奨レベルの変更について	https://canscreen.ncc.go.jp/guideline/haigan.html 国立がん研究センターの肺がん検診ガイドラインが改訂された。 ・重喫煙者に対する低線量CT検診が、推奨グレードI⇒Aになった。 ・重喫煙者に対する喀痰細胞診併用法が、推奨グレードB⇒Dになった。 今後、対策型検診で低線量CT検診が増加すると見込まれる。 ⇒JAHISの検診システムを手掛けるベンダーは関心があるのではないかと推測

1. 部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発

(2) 2026年度事業計画・予算案の策定、JIRA産業ビジョン2030対応検討:

- 2025年度の部会事業計画と、JIRA産業ビジョン2030の対応を整理
- JIRA/産業戦略WG作成、「JIRAビジョン2030進捗表(上半期活動報告)」を参照し、俯瞰的に認識
- JIRA産業ビジョン2030を見据え、2026年度の事業計画(案)を作成
- **標準化による相互運用性、安全性確保のための、各委員会の活動への割り振り検討**

ビジョン2030抽出状況 (骨子1)

ビジョン2030抽出状況 (骨子2)

ビジョン2030抽出状況 (骨子3)

ビジョン2030抽出状況 (骨子4)

ビジョン2030抽出状況 (骨子5)

JIRA産業ビジョン2030(5つの柱)	2025年度の部会事業計画	担当委員会
1 JIRA産業の振興と関連領域との連携強化 ●社会の変化に適応した画像診断・治療等の技術探求と、その早期社会実装に向けた環境作り	・JAHISとの合同WG、医機連WG、HEASNETへの参画。 ・アカデミア(JART/JSRT)との連携、HELICS/IHE-Jの活動支援。 ・JIRA会員/非会員、アカデミア、医療従事者等への教育・セミナー開催。(セキュリティ対策、DICOM規格、既読管理、モニター精度管理)	・本委員会 + 全委員会 画像診断レポート委員会 モニタ診断システム委員会 DICOM委員会
2 【データが変わる医療】の実現に向けた環境整備 ●データ収集・利活用についての業界側が抱える課題(法規制、国民の理解等)とその解決案の提案と推進	【重要課題】画像診断装置等における、さらなるイノベーションの推進 ・画像診断レポート関連の標準化(HL7/CDA, FHIR対応、2次利用)、データ収集・利活用のための相互運用性と安全性の確保。 ・医療機器を含むサイバーセキュリティ対策(MDS/SDS, RSS)に必要な仕組みの整備、運用の支援	・画像診断レポート委員会 ・DICOM委員会 + セキュリティ委員会 ・セキュリティ委員会
3 医療機器に即した法規制、保険制度の実現	・医療機器のサイバーセキュリティ(医機連WG、導入手引書/確保手引書)への対応。 ・ 画像診断用ディスプレイ(=医療機器)の診療報酬改定への取組。	・セキュリティ委員会 ・モニタ診断システム委員会
4 (関連取組)	【データが変わる医療】の実現に向けた環境整備	・情報セキュリティ対策 ・サイバーセキュリティ対策
5 持続可能な医療を提供する産業構築 ●医療機関における医療機器のサイバーセキュリティ対応に必要な仕組み整備、運用の支援	・医療機器のサイバーセキュリティ(医機連WG、導入手引書/確保手引書)への対応。 ・法規制・安全部会/TF	・HL7 FHIR対応検討 ・診療報酬改定への取組

セキュリティ委員会	DICOM委員会	画像診断レポート委員会	モニタ診断システム委員会
JIRA産業の振興と関連領域との連携強化 ・JAHIS、JSRTとの連携 ・医機連WG、HEASNET ・セキュリティ対策の講演	・JAHIS、JSRTとの連携 ・HELICS、IHE-J支援 ・DICOMセミナーの開催	・既読管理についての講演 - 確認事項の説明 - 導入事例の講演	・JSRT、JARTとの連携 ・精度管理セミナーの開催
【データが変わる医療】の実現に向けた環境整備 ・情報セキュリティ対策 ・サイバーセキュリティ対策	・JESRA策定・改定 -TR-0045, 47*A	・CDA GLの利用拡大検討 ・レポートの2次利用模索 ・マスターやコードの調査	
医療機器に即した法規制、保険制度の実現 ・医療機器のサイバーセキュリティ - 導入手引書、確保手引書 ・法規制・安全部会/TF	(線量管理 RDSR)	(HL7 FHIR対応検討)	・診療報酬改定への取組
グローバル市場での競争力の強化 ・TC215 WG4/JWG7 ・DICOM WG14	・C-Pack/LB/PCへの対応 ・JIRA発の提案の推進 ・DSCでの活動報告		
持続可能な医療を提供する産業構築 ・MDS/SDS、JESRAの改定 ・RSS、JESRAの改定 ・安全管理GL改定	・DICOM WG14 ・DICOM規格 ・線量管理 RDSR		・モニター精度管理

1. 部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発

(3) JESRA最新動向・改定状況の整理、情報共有:

- JIRA産業ビジョン2030への対応として、JIRAにおける標準化の状況を分析。
- 全34件(2025年、10月時点)の分類と下記①②の情報共有を行った。

①会員企業毎_原案作成者数ランキング、②分類別_会員企業毎_原案作成者数ランキング

・34件の分類:11、最も多い:工事マニュアル/9件、システム部会:5分類/9件

	分類	規格番号	件数	システム部会作成
1	保守点検	TI-0001*C、X-0067*C、X-0071*C	3	
2	性能試験	TI-0003、X-0087*C、X-0091*A	3	
3	ディスプレイ	TI-0004、TR-0049、X-0093*C	3	3件全て
4	測定マニュアル	TR-0027*A、TR-0040*C、TR-0046、X-0051*D、X-0066*A	5	
5	PET関連	TR-0028*A、TR-0029*A、X-0073*H(性能測定)	3	
6	工事マニュアル	TR-0031、TR-0037*A、TR-0038*B、TR-0041*A、TR-0043、TR-0048、X-0060、X-0086*A、X-0090*A	9	
7	リモートサービス	TR-0034*D、TR-0036	2	1件(TR-0034*D)
8	情報セキュリティ	TR-0039*E 唯一のHELICS指針(厚労省標準)	1	1件
9	放射線レポート	TR-0042*A(診断<読影>)、TR-0044(線量)	2	2件
10	データ利活用	TR-0045、TR-0047*A	2	2件
11	マンモ	X-0076*A	1	
			計	9

赤字:2024年度、2025年度制定/改正分、下線・青字:2025年度改正予定

1. 部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発

(3) JESRA最新動向・改定状況の整理、情報共有:

- 更に年代別_制定/改正履歴、最新動向・改訂状況を整理(2025年、10月時点)。
- 放射線部門業務(レポート/線量/点検等)の集約・効率化に関するGL作成等、生成AIやデータ利活用を想定した標準化の必要性を提案。

	分類	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030
1	保守点検		X-0067*C X-0071*C	TI-0001*C							
2	性能試験				X-0087*C X-0091*A	TI-0003					
3	ディスプレイ					X-0093			TI-0004 TR-0049 X-0093*C		
4	測定マニュアル	X-0051*D	X-0066*A				TR-0027*A TR-0040	TR-0046		TR-0040*C	
5	PET関連		X-0073*H			TR-0028*A TR-0029*A					
6	工事マニュアル		X-0060		X-0086*A X-0090*A	TR-0031	TR-0037*A TR-0038*B TR-0041*A	TR-0043	TR-0048		
7	リモートサービス						TR-0034 TR-0036		TR-0034*D	改正中	
8	情報セキュリティ						TR-0039		TR-0039*E		
9	放射線レポート							TR-0042*A TR-0044			
10	データ利活用							TR-0045 TR-0047*A			
11	マンモ		X-0076*A								
	<制定>計	1	6	1	4	5	8	6	3	0	

JIRA産業ビジョン2030の達成に向け、標準化の推進に取り組む。

1. 部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発

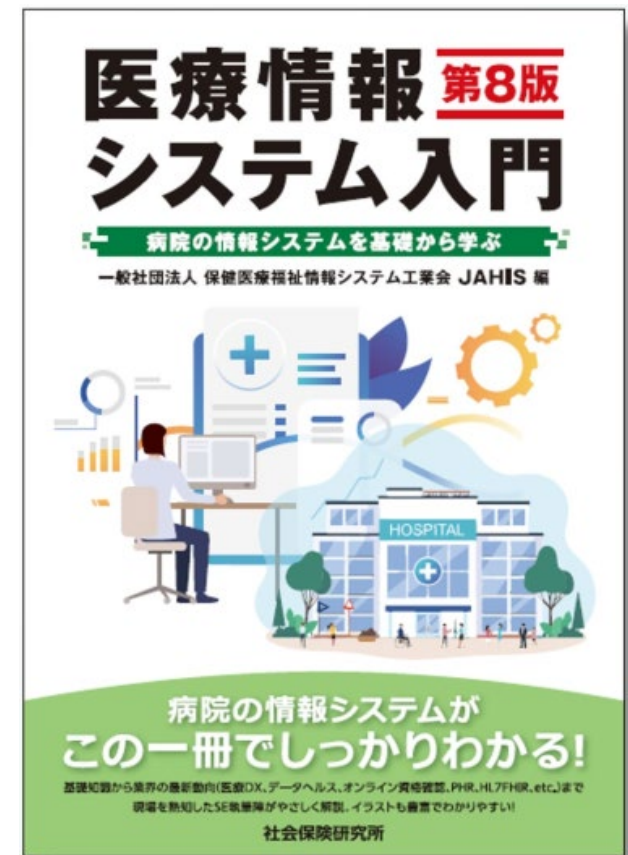
(4) その他:

- JAHIS_2025年度「医療情報システム入門コース」(VOD開催)、書籍版(第8版)作成への協力。
- 「DATA BOOK 2026 図表で見る画像医療システム産業」継続発行における加筆修正。
- 関連産業振興委員会、施設見学会への参画。

■JAHIS_2025年度「医療情報システム入門コース」(VOD開催)への協力

単元	時間 (目安です)	単元名/内容
I	55分	医療をめぐる動向ガイダンス ・医療業界、医療IT業界に影響を与える制度、政策を紹介 ・ヘルスケアITに関して目指すべき方向性を示したJAHIS2030ビジョンを紹介
II	65分	医療機関における医療情報システム ・病院とは ・病院業務と医療情報システム ・医療情報システムの変遷・歴史 ・病院における医療情報システム ・その他医療機関における医療情報システム ・地域連携システム
III	25分	医療情報システムの標準化について ・JAHISパンフレットをもとに説明
IV	35分	医療情報システムの患者安全に関するリスクマネジメント ・必要性と国内外の動向、医薬品医療機器法、JAHISの取り組み等について紹介
V	80分	プライバシーとセキュリティ ・基本的な考え方 ・法令とガイドライン ・医療における個人情報 ・セキュリティ関連技術
VI	145分	医事会計システム ・医事会計システム概要 ・DPCの概要 ・電子レセプトの概要 ・診療報酬改定への対応について
VII	90分	電子カルテシステム (オーダエントリシステムも含む) ・成り立ち、全体像、目的、他システムとの関連及び、今後の方向性 ・病院基幹システムとして、診療記録・病院ワークフロー・部門システム連携などの機能について説明
VIII	40分	部門システム ・部門システムとは? 代表的な部門システムの紹介
IX	30分	物流システム ・物流システム (薬剤管理、医療材料管理) の紹介
X	75分	検査システム ・検査システム (臨床検査)
XI	50分	地域医療システム ・医療情報システムにお ・目的、対象範囲、他システムとの ・今後の方向性
XII	35分	医用画像システム ・医用画像システムの紹介

引き続き、書籍『医療情報システム入門』の
原稿確認へ対応予定



1. 部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発

■ 施設見学会

・JIRA関連産業振興委員会／研修・連携専門委員会主催による施設見学会に参加。

見学先：株式会社京都科学 (<https://www.kyotokagaku.com/jp/>) 本社工場

部会本委員会の外部開催・関連産業振興委員会との合同開催の再開までには至らずも、

医用画像システム部会からはJIRA事務局の佐藤部長、セキュリティ委員会の堀野委員長と高野の3名が参加。



ファントムの3Dプリンタでの製造、ロボットによる塗装工程等を見学。近年では、医療施設向けのファントムだけでなく、国内・海外共に、医療教育機関向け教材・シミュレータの売上比率が高いのが特徴。

1. 部会活動の企画・推進

- (1) JIRA・JAHIS情報交換会(JJI)の開催
- (2) 2026年度事業計画・予算案の策定、JIRA産業ビジョン2030対応検討
- (3) JESRA最新動向・改定状況の整理、情報共有
- (4) その他

2. 成果の周知及び啓発

- (1) 部会合同報告会(9月)、部会成果報告会(3月)の開催
- (2) JIRAトピックス(JSRT学会誌)7月号、JIRA会報221号(トピックス)への寄稿

3. まとめ

2. (1) 部会合同報告会の開催(9月)

■ 画像診断装置等における更なるイノベーションの促進 ⇒ 2025年度重要課題

- ・画像診断レポートの標準化やデータ収集・利活用のための相互運用性と安全性の確保
 - ・医療機器を含むサイバーセキュリティ対策に必要な仕組みの整備、運用の支援
- ※医療の質・安全性の向上に加え、次年度に向けて、経済性と有効性への対応も検討を開始する。

	セキュリティ委員会	DICOM委員会	画像診断レポート委員会	モニタ診断システム委員会
標準化による、相互運用性と、安全性の確保	①MDS/SDS、JESRAの改定 ②RSS、JESRAの改定 ③医療機器のセキュリティ対策	①CPack/LB/PCへの対応 ②SWG活動(セミナー活動、他) ③JESRAの改定(TR-0044,-045)	①CDA GLの利用拡大検討 ②レポートの2次利用模索 ③マスターやコードの調査	①医療機器、新JESRA周知・啓発 ②施設要件化に関する協議 ③新JESRAの実運用化(WG発足)
教育・啓蒙活動	④MDS/SDS、RSSの講演	④DICOMセミナーの開催	④既読管理セミナーの開催	④精度管理セミナーの開催
企画・広報活動	⑤合同報告会(旧 夏の勉強会、9月)			
	⑥2025年度 部会成果報告会(2026年、3月)			
	⑦JIRA産業ビジョン2030を見据えた、部会活動の見直し(2026年度事業計画の策定)			
	⑧JIRA内の他部会・委員会との連携強化(見学会、外部開催、合同でのセミナー開催、等)			

企画・広報委員会
(旧システム教育委員会)

【報告タイトル】

13:40～15:40

1. 「新JESRA実運用に向けた検討WG」の活動
講師: 医用画像システム部会 モニタ診断システム委員会委員長 前田 一哉
2. 「MDS/SDS、RSSの活用促進に向けた取り組み」
講師: 医用画像システム部会 セキュリティ委員会委員長 堀野 誠人
3. 「DICOM委員会SWG活動状況」
講師: 医用画像システム部会 DICOM委員会委員長 中野 信一
4. 「放射線レポート見落とし防止対策」
講師: 医用画像システム部会 画像診断レポート委員会委員長 原 真

【講演タイトル】

15:50～17:00

特別講演

「X線画像表示媒体の変遷と精度管理」

講師：

埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部

松田 恵雄 先生

2. (1) 部会合同報告会の開催(9月)

JIRA 一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association

Google 提供

Home 関係団体リンク サイトマップ

JIRAについて 部会・委員会等 刊行物 展示会 セミナー

Home > 部会・委員会等 > 専門的活動組織 > 医用画像システム部会 > 情報

医用画像システム部会

概要・組織 事業計画・報告 トピックス **情報**

最新情報 NEW

- 【企画・広報委員会】2025年度医用画像システム部会合同報告会および特別講演会
2025年9月26日開催
- 【DICOM委員会】2025年度 上半期DICOMセミナー(基礎から振り返ってみよう 2025)
2025年6月20日開催
- 【企画・広報委員会】部会紹介に関するパンフレットの提供
2025年4月、5月公開
- 【本委員会】2024年度医用画像システム部会成果報告会および特別講演会
2025年3月14日開催

企画・広報委員会

■ 2025年度医用画像システム部会合同報告会および特別講演会

2025年度医用画像システム部会合同報告会および特別講演会を開催しました。

医用画像システム部会は合同報告会と特別講演会を2025年9月26日にウェビナー形式で開催しました。
医用画像システム部会の部会長と委員長からの最新のトピックス紹介に続き、埼玉医科大学国際医療センターの松田恵雄先生より「X線画像表示媒体の変遷と精度管理」についてご講演していただきました。

日 時：2025年9月26日 13:30-17:10
テーマ：標準化による相互運用性、安全性の確保に向けた取り組み状況

■ プログラム

1. 「部会長挨拶・報告」
医用画像システム部会 部会長 湯澤 史佳
2. 「新JESRA TR-0049の実運用に向けた検討WG」の活動
モニタ診断システム委員会 委員長 前田 一哉
3. 「MDS/SDS、RSSの活用促進に向けた取り組み」
セキュリティ委員会 委員長 堀野 誠人
4. 「DICOM委員会SWG活動状況」
DICOM委員会 委員長 中野 信一
5. 「放射線レポート見落とし防止対策」
画像診断レポート委員会 委員長 原 真
6. 特別講演：「X線画像表示媒体の変遷と精度管理」
埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 松田 恵雄 先生
7. 閉会の挨拶
医用画像システム部会 副部会長 高野 博明

【概要】

2025年度 医用画像システム部会成果報告会 および特別講演会

テーマ：～革新的な画像医療システムの
早期社会実装・有効活用への貢献～

開催日時： 3月13日(金) 13:30～16:30

2. (1) 部会成果報告会の開催(3月)

【報告タイトル】

13:40~15:10

1. 「モニタ診断システム委員会」
講師: 医用画像システム部会 モニタ診断システム委員会委員長 前田 一哉
2. 「セキュリティ委員会」
講師: 医用画像システム部会 セキュリティ委員会委員長 堀野 誠人
3. 「DICOM委員会」
講師: 医用画像システム部会 DICOM委員会委員長 中野 信一
4. 「画像診断レポート委員会」
講師: 医用画像システム部会 画像診断レポート委員会委員長 原 真
5. 「企画・広報委員会」
講師: 医用画像システム部会 企画・広報委員会委員長 高野 博明

【講演タイトル】

15:20～16:20

特別講演

**「施設間画像情報連携の最前線」
～画像情報連携の現実的な運用と今後の展望～**

講師:

大阪国際がんセンター 川真田 実 先生

1. 部会活動の企画・推進

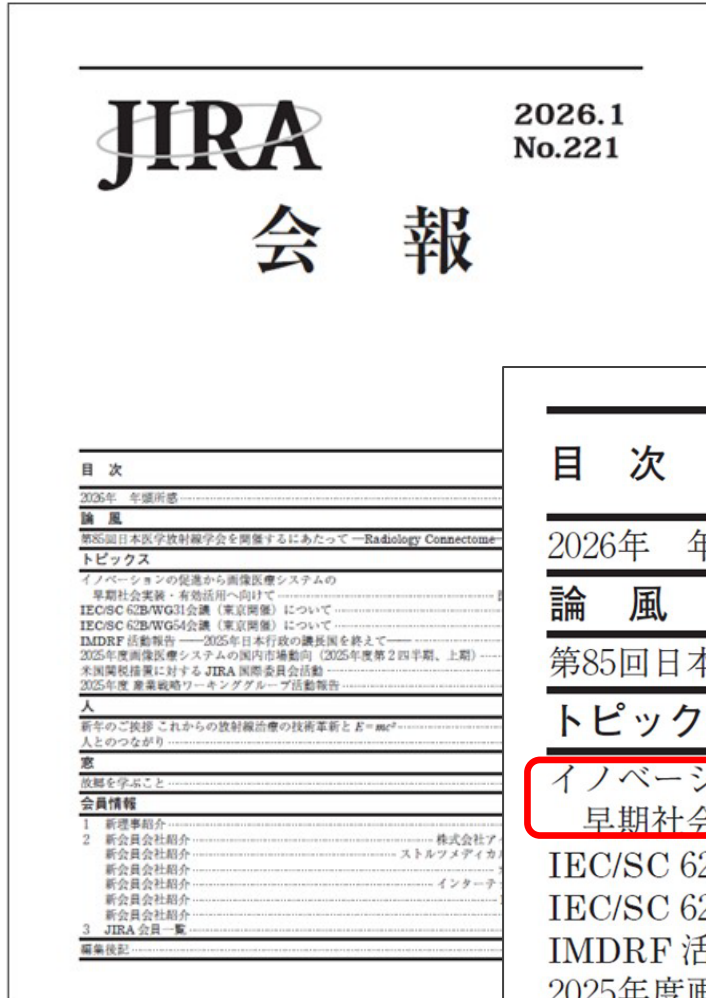
- (1) JIRA・JAHIS情報交換会(JJI)の開催
- (2) 2026年度事業計画・予算案の策定、JIRA産業ビジョン2030対応検討
- (3) JESRA最新動向・改定状況の整理、情報共有
- (4) その他

2. 成果の周知及び啓発

- (1) 部会合同報告会(9月)、部会成果報告会(3月)の開催
- (2) JIRAトピックス(JSRT学会誌)7月号、JIRA会報221号(トピックス)への寄稿

3. まとめ

2. (2) JIRAトピックス7月号、JIRA会報221号(トピックス)への寄稿



JIRA会報 No.221

イノベーションの促進から画像医療システムの 早期社会実装・有効活用へ向けて

https://member.jira-net.or.jp/jira_portal/member/member_info/file2/jira_kaihou_219.pdf

目次

2026年 年頭所感	会長 瀧口登志夫	1
論風		
第85回日本医学放射線学会を開催するにあたって—Radiology Connectome—	阿部 修	3
トピックス		
イノベーションの促進から画像医療システムの 早期社会実装・有効活用へ向けて	医用画像システム部会	5
IEC/SC 62B/WG31会議（東京開催）について	標準化部会	10
IEC/SC 62B/WG54会議（東京開催）について	標準化部会	12
IMDRF 活動報告——2025年日本行政の議長国を終えて——	法規・安全部会	14
2025年度画像医療システムの国内市場動向（2025年度第2四半期、上期）	調査・研究委員会	23
米国関税措置に対する JIRA 国際委員会活動	国際委員会	28
2025年度 産業戦略ワーキンググループ活動報告	産業戦略室	32

3. まとめ

- 2025年度、企画・広報委員会は、部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発に取り組んだ。

<部会活動の企画・推進>

- JIRA・JAHIS情報交換会(JJI)の開催
- 2026年度事業計画・予算案の策定、JIRA産業ビジョン2030対応検討
- JESRA最新動向・改定状況の整理、情報共有

<成果の周知及び啓発>

- 部会合同報告会(9月)、部会成果報告会(3月)の開催
- JIRAトピックス(JSRT学会誌)7月号、JIRA会報221号(トピックス)への寄稿

- 中期(3年)計画である、「医療イノベーションの実現と画像医療システム産業拡大への貢献」を目指し、2026年度も引き続き、「部会活動の企画・推進、成果の周知及び啓発」に取り組む。

- 第3回部会合同報告会/JJI/JR3Cの開催、政策企画会議(特定テーマ)のエントリー等を推進する。

医用画像システム部会の企画・広報担当として、ホームページ運営、成果報告会の主催、展示企画等への協力に取り組む。また、JIRA会報やJSRT等の学会誌や民間医療情報誌等を通じて、医用画像システム部会の活動を広く紹介していく。

御清聴 ありがとうございました。



一般社団法人日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association